

「INTER BEE IGNITION×DCEXPO」

みどころのご紹介と取材のご案内

生成 AI による最新のクリエイティブが集結！ 日本のコンテンツ産業に革命を起こす！
メッシュ型 LED ディスプレイ、10m 超のファブリックスピーカーなど、未来の技術を体感
「テレビドラマに革命を起こす AI 映像」と題した基調講演や、
『大屋根リング』設計の藤本壮介氏・魚類学者でギョ存知のさかなクンのセッションも必見です！

幕張メッセ会場：11 月 19 日（水）～21 日（金）10:00～17:30（最終日のみ 17:00 まで）

一般財団法人デジタルコンテンツ協会は、『INTER BEE IGNITION×DCEXPO』を、**11 月 19 日（水）から 21 日（金）までの 3 日間、幕張メッセ 国際展示場 展示ホール 6 内で開催いたします。**

「INTER BEE IGNITION×DCEXPO」は、コンテンツ産業とエンターテインメント産業における新たなビジネス創出と活性化を目指して、Inter BEE 内で実施されている特別企画です。本展では、新たな市場を創り出したばかりの、可能性を秘めた最先端のコンテンツ技術を体験できる展示のほか、世界の第一線で活躍する専門家、研究者、クリエイターによるコンファレンスやデモを実施します。

DCEXPO（デジタルコンテンツ EXPO）は、先端技術とコンテンツをテーマにした国際イベントとして、コンテンツ産業のイノベーション促進に貢献してきました。2008 年から毎年秋に開催しており、今年で 18 回目を迎えます。質の高い技術を大学や企業の研究室の中で留めることなく、コンテンツと組み合わせることで来場者の皆さんにご体験いただくことで、世界を変えるようなイノベーションを起こすきっかけの場を創ります。今年は「AI Street - AI Ignites Creation -」と題し、生成 AI によるクリエイティブのデモ展示も多数実施。生成 AI によってクリエイティブはどう変わるのかも必見です。**これから世界へ羽ばたく日本の最先端コンテンツ技術をいち早くご体験ください！**

【注目 TOPICS の一部】

<展示・パフォーマンス関連>

口真似音声から効果音を合成「PronounSE」（プロナウンス）

ボイスパーカッションのように音をリアルに模倣した口真似音声から効果音を合成する手法を提案。実際の音づくりに挑戦できる展示を行います。



次世代スピーカー「NWON」（ニューオン）

スピーカーの機能をそのままに自由に形を変えることができる、軽量・薄型のフレキシブルな静電式布状スピーカーを利用した音体験を展示。長さ約 10m に及ぶ次世代スピーカー「NWON」による従来にない没入型・体感型の音響演出をご体験ください



「LookingGlass」ー 生成 AI が描く “二重の現実” を体験

チューリッヒ工科大学（ETH）とディズニーマー・リサーチが共同開発した「LookingGlass」が、DCEXPO で日本初出展。生成モデルを用いて「一枚の画像に二つの意味を宿すアート体験」を実現しました。AI と人間の視覚の境界を揺さぶる、未来の錯視体験をお楽しみください。



AI Fashion NFFT

世界のクリエイターたちが創造する新しい AI とファッションの未来、「Nature Meets Innovation（自然とイノベーションの融合）」をテーマにした AI ファッションムービーイベントです。最先端の AI 技術を駆使し、これまでにない映像世界を生み出します。



革新的な設置自由度を実現する新型 LED ディスプレイ

防水性と耐風性を兼ね備えた、屋外対応の軽量・フレキシブル・ワイヤレス LED ディスプレイが登場。軽量のメッシュ型ディスプレイは、防水性能や風の影響を受けないため、スポーツシーンや屋外イベントで活用でき、ドローンから吊り下げた飛行も可能。会場では 6m×9m の巨大スクリーンを展示します。



ロボットハンドアバタ「Handoid」

ロボット本体から手の平部分だけが分離でき、まるで自分の体であるかのように、遠隔操作することができるロボットハンドアバタ。世界最大級のコンピュータグラフィックスとインタラクティブ技術の国際会議「SIGGRAPH 2025」で E-Tech Audience Award を受賞した技術を展示します。



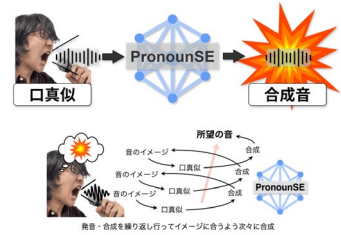
「INTER BEE IGNITION×DCEXPO」展示・コンファレンスの詳細（一部）

展示関連

◆言語に依存せず口真似音声から効果音を合成する「PronounSE（プロナウス）」／

京都産業大学大学院 先端情報学研究科 平井研究室 / 産業技術総合研究所 人工知能研究センター 知的メディア処理研究チーム

「ドーン」「ボガーン」「パーン」といったアニメやゲーム等のサウンド音を、イメージ通りすぐに作れたら……。それを叶えるのが本研究「PronounSE」です。ボイスパーカッションのように音をリアルに模倣した口真似音声から効果音を合成する手法を提案します。サウンド制作に携わる方はもちろん、教育や玩具など多様な産業への展開可能性も高い技術です。実際の音づくりに挑戦できる展示を行います。



◆Handoid—異形態間でのマルチプレゼンスを実現するロボットハンドアパタ／

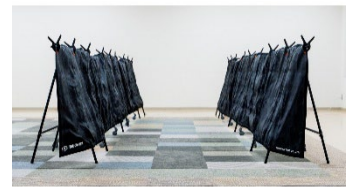
東京大学 先端科学技術研究センター 身体情報学分野 稲見・門内研究室

Handoid は、ロボット本体から手の平部分だけが分離でき、まるで自分の体であるかのように、遠隔操作することができます。ロボット本体が進入できない狭い場所での作業や、複数のタスクの並行実施など、従来のヒューマノイドロボットでは困難だった多様なタスクを可能とし、将来我々の生活を支えるパートナーとなる可能性を秘めています。エンターテインメントから実社会の課題解決まで、多様な展開が期待できる技術として注目されています。世界最大級のコンピュータグラフィックスとインタラクティブ技術の国際会議「SIGGRAPH 2025」において Emerging Technologies Audience Awardを受賞した Handoid にご注目ください。



◆次世代スピーカー「NWON」（ニューオン） ～触れる、聴こえる、未来の音体験～／（株）槌屋

スピーカーの機能をそのままに自由に形を変えることができる、軽量・薄型のフレキシブルな静電式布状スピーカーを利用した音体験を展示します。巻物状に収納・運搬可能な柔軟性を持ち、設置性にも優れ、表層材を変更することで意匠性の高いデザイン展開が可能に。音質面では中高音域の再生性能に優れ、とりわけ女性ボーカルの再現性が高く、臨場感のある音響体験を提供します。布の全面に小さな発音体が無数にあるようなイメージで音が鳴るため、場所による音量差が少なく、音源の位置特定が困難な独特の音場空間を形成します。軽量・薄型であると同時に、数メートルから数十メートル級までの大型化も容易。会場では長さ約 10m に及ぶ次世代スピーカー「NWON」による音の回廊を作り、左右から聞こえる音の間を歩くことにより、音が追隨してくるような錯覚を味わえるとともに、従来にない没入型・体感型の音響演出を体験できる特別展示を行います。



◆スマホで鳴らせる鳩時計「OQTA Heart Poppo」／（同）inoree

言葉を介さず“想い”を伝える非言語 IoT コミュニケーション技術を紹介。俳句や茶道にも通じる日本の伝統文化に息づく「余白」や「間」の美学を現代技術へと昇華させ、鳩時計の音を通じて、距離を越えて“祈り”や“想い”を届けます。“ふとした気持ち”や“言葉にならない思い”を音にして届ける鳩時計型デバイス「OQTA Heart Poppo」は、時刻を知らせるためには鳴かず、スマートフォンアプリのボタンを押した数だけ鳴くことで「いま思ったよ」という気持ちだけをそっと届けることができます。世界中どこにいても、遠く離れた家族や大切な人の手元にあるインターネットに接続された「OQTA Heart Poppo」から「ポッポ」という音を鳴らすことで心を癒す。たとえば、離れて暮らす母と息子、介護施設の入居者と家族、海外赴任中の子供と祖父母など、言葉にできない想いを“音”でつなぎます。



◆革新的な設置自由度を実現する新型 LED ディスプレイ／MPLUSPLUS（株）

LED を駆使した革新的なテクノロジー演出と独自のダンスパフォーマンスで知られる MPLUSPLUS が、防水性と耐風性を兼ね備えた、屋外対応の軽量・フレキシブル・ワイヤレス LED ディスプレイを開発して展示します。これまで開発してきた壊れにくい LED や小型 LED 制御デバイスの開発技術を応用した軽量のメッシュ型ディスプレイは、防水性能や風の影響を受けないため、スポーツシーンや屋外イベントで活用でき、ドローンから吊り下げた飛行も可能。数人で持ち運び可能なため養生されている芝生や、重量物の設置が困難な歴史的建造物などでの使用が見込まれます。形状のカスタマイズも可能で、人型や商品シルエットなど、用途に応じた“空飛ぶディスプレイ”の制作が可能。この軽量 LED ディスプレイは、ドローンによる吊り下げだけでなく、巨大なフラッグのように人が持って運ぶ演出や、施設への常設設置など、さまざまな用途に対応可能。会場では 6m×9m の巨大スクリーンを展示します。



◆100 年動き続けられる身体と脳を創る「SHOSABI」／（株）SHOSABI

SHOSABI は、東京大学と三菱ケミカルグループによる 10 年以上の研究から生まれた、脳と身体のコーディネーション＝Cognitive Motor Intelligence を再構築する AI システムです。“動きの質”を科学的に可視化し、本人が気づき・変え・理解できる仕組みを実現しました。SHOSABI は、Bodily Awareness（身体知）× Precision Movement（精密な動き）を AI で統合し、人間の動作を“再学習”する、世界で唯一の Cognitive Motor Intelligence AI。データの蓄積により、人間の“動きの質”を基軸に健康を設計する、新しい時代の柱を築きます。すでに UK や中東の最先端フィットネスジムや予防クリニックに導入が進み、米国の有名フィットネスブランドとのコラボレーションも前向きに進行中。世界が、動きの未来を SHOSABI とともに再定義しようとしています。



◆LookingGlass／チューリッヒ工科大学（ETH） / デイズニー・リサーチ

チューリッヒ工科大学（ETH）とディズニー・リサーチが共同開発した「LookingGlass」が、DCEXPO で日本初出展します。「LookingGlass」は、生成モデルを用いて「一枚の画像に二つの意味を宿すアート体験」を実現しました。通常の視点と、鏡やレンズを通した視点——その両方で異なる意味が立ち上がる不思議なアナモルフォシスを、来場者自身の操作で生成・鑑賞できます。会場では、オリジナル UI による生成体験に加え、持ち帰り用の円筒ミラーも配布予定。AI と人間の視覚の境界を揺さぶる、未来の錯視体験をお楽しみください。



◆『New Future AI Fashion Technology』／AI Fashion NFFT

『New Future AI Fashion Technology』は、世界のクリエイターたちが創造する新しい AI とファッションの未来、「Nature Meets Innovation（自然とイノベーションの融合）」をテーマにした AI ファッションムービーイベントです。最先端の AI 技術を駆使し、自然の美しさと革新的なデジタルテクノロジーを融合させ、これまでにない映像世界を生み出します。流れる水や風、揺らめく木々と未来的な素材、デジタル表現を融合させ、自然の優美さとテクノロジーの進化を映像化。環境への配慮とともに、時代を超えた革新と美しさのビジョンを提示し、自然と人工の境界を超えた新しいファッションの可能性を追求します。自然の静寂と未来都市が交錯する幻想的な映像体験をお楽しみください。映像・音楽も全て最新の AI 技術を使って制作しています。



◆簡単に！楽しく！デジタル体育プラットフォーム「DIDIM」／（株）ツーハンズメタ

AR X LiDAR を活用した“デジタル体育”ソリューション「DIDIM（ディディム）」。床面に映し出されるインタラクティブな映像を通じて、HMD やデバイスを必要とせず、身体だけで運動・ゲーム・フィットネステストなどを体験できます。「DIDIM」は、拡張現実を利用したさまざまなトレーニング空間（最小 4.5m×3m 程度）を映像で生成。床を利用して非接触、非対面型トレーニングを可能にします。簡単に、手ぶらで、年齢や対象、目的に合った難易度チューニングが可能。ひとりでも、複数での協力プレイ、オンラインでの対戦プレイなどもできます。ゲームを介して脳への刺激を送るだけに終わらず、同時に適度な運動を促すことで偏りない健康効果を可能とします。



コンファレンス関連

◆【INTER BEE IGNITION×DCEXPO 基調講演】テレビドラマに革命を起こす AI 映像／11月19日（水）14:30▶15:30 幕張メッセ国際会議場 2F 国際会議室

本講演では、読売テレビが制作した、全編に生成 AI を使用することで動画生成 AI の「可能性と限界」に挑戦したショートドラマ『サヨナラ港区』を題材に、テレビドラマに革命を起こす AI 映像について、AI クリエイターの宮城明弘氏とプロデューサーの汐口武史氏にご講演いただきます。モデレーターは、ジャーナリストのまつもとあつし（松本淳）氏が務めます。



＜左から、宮城明弘氏、松本淳氏＞

◆【INTER BEE IGNITION×DCEXPO 企画セッション】

SIGGRAPH 招聘トークセッション: AI と GPU が切り拓くリアルタイム表現の未来

／11月21日（金）14:20▶15:20 幕張メッセ展示ホール 6 特別企画オープンステージ

世界最大の CG とインタラクティブ技術の国際学会 ACM SIGGRAPH より、今年は、Unity Technologies で Graphics Engineer として長年クリエイターをサポートし、SIGGRAPH2026 の人気プログラム "Emerging Technologies" のチェアを務める Jesse Barker 氏を迎え、リアルタイム表現の今、そして未来についてディスカッションします。パネリストとして、スクウェア・エニックスのリード AI リサーチャー三宅陽一郎氏がゲーム開発における AI の観点から議論に加わり、モデレーターは慶應義塾大学大学院の南澤孝太教授に務めていただきます。AI とリアルタイムグラフィックスは、未来の表現にどう貢献するのでしょうか。Barker 氏には、来年の Emerging Technologies のチェアとして、これから来る技術についても語っていただきます。



＜左から、Jesse Barker氏、三宅陽一郎氏、南澤孝太氏＞

◆【INTER BEE IGNITION×DCEXPO 企画セッション】 創賞・匠賞受賞記念トークセッション

第一部「アート&サイエンスで深海を泳ぐ ― さかなクン×河口洋一郎が描く“未知の魚” ―」

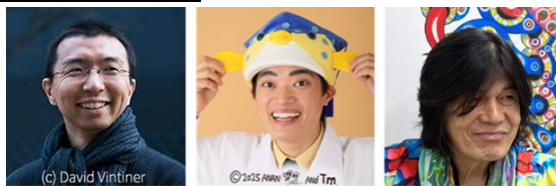
第二部「生命を宿すカタチ：建築とアートの対話」

／11月21日（金） 15:40▶16:40 幕張メッセ展示ホール6 特別企画オープンステージ

世界的な CG アーティスト河口洋一郎氏が主宰し、今年で 19 回目を迎える「ASIAGRAPH 創（つむぎ）賞・匠賞」。「創賞」は、特に優れたクリエイティブを、また「匠賞」は特に優れた技術力をさまざまなコンテンツとして発表され評価された方に贈られます。

今年の創賞は、魚類学者であり、魚の豊富な知識や経験に裏付けされたトークでギョウ存知！さかなクンが受賞。魚の絵画やイラストを通した普及・啓蒙活動の貢献も高く評価されました。

匠賞は、2025 大阪・関西万博において<大屋根リング>を設計デザインプロデュースを手掛けた藤本壮介氏に決まりました。「原初的な未来の建築」という哲学のもと、巧みな技術と創造性によってさまざまな建築を生み出してきた藤本氏。大屋根リングにはどのような想いを託されたのでしょうか。河口洋一郎がさかなクン、藤本壮介氏とそれぞれ対談し、お二人の魅力を引き出す注目のトークセッションにご期待ください。



<左から、藤本壮介氏、さかなクン氏、河口洋一郎氏>

◆【INTER BEE IGNITION×DCEXPO 企画セッション】 独自進化を遂げる中東の AI 戦略

／11月20日（木） 13:40▶14:40 幕張メッセ展示ホール6 特別企画オープンステージ

世界の潮流に合わせて、中東でも国家主導の AI 政策のもと、さまざまな分野で AI の活用が急速に広がっています。本コンファレンスでは、UAE やサウジアラビアといった主要国が進める国家戦略が今後、各産業に与える影響や最先端の活用状況を詳細に紹介します。また、サウジアラビアで作られた新会社「HUMAIN」など最近の動向について分析、市場の「今」を伝える情報も網羅します。さらに、LEAP や GITEK などの中東発の主要テックイベントがアジアにまで広がり、“文化とテクノロジーの交差点”としてどのように台頭しているか、国際的な意義についても焦点を当てます。



<鷹島屋 明氏>

◆【INTER BEE IGNITION×DCEXPO 企画セッション】

AI 映画の今と未来 ―『グランマレビット』に見る創作の進化と、日本初 AI 国際映画祭が拓く新潮流―

／11月19日（水） 16:10▶17:10 幕張メッセ展示ホール6 特別企画オープンステージ

長編映画『グシャピンツメ』（2004 年）以降、実写の映画監督として活動し、2024 年に制作した自身初の AI 映画『IMPROVEMENT CYCLE』がブチオン国際ファンタスティック映画祭 2024 の AI 部門などを含む、海外の AI 映画祭に多数入選。2025 年 8 月には全編生成 AI で制作されたオムニバス映画『generAIdoscope：ジェネレイドスコープ』が劇場公開され、その一篇「グランマレビット」を担当した山口ヒロキ監督をお招きし、日々進化する生成 AI のみで映画を撮る魅力や課題、映画館上映の手応えや今後について語っていただきます。



<左から、山口ヒロキ氏、池田裕行氏、寺嶋千景氏>

また、日本初・アジア最大級の AI 映画祭「第 1 回 AI 日本国際映画祭 2025」（11/2-3 開催）の代表理事を務める池田裕行氏を迎え、上映された作品の紹介や、AI 映画による「大胆で新しいクリエイティブ時代の到来」についてお話いただきます。

モデレーターは、『グランマレビット』を制作したガウマピクス株式会社のプロダクションマネージャー、寺嶋千景氏。

誰もがその現状と未来に注目する生成 AI×クリエイティブの最新情報とチャレンジが詰まった見逃せないセッションです。

◆【INTER BEE セッション】 国際的な競争力を生むイマーシブコンテンツの未来

／11月20日（木） 12:30▶14:00 幕張メッセ国際会議場 2F 201 会議室

イマーシブというキーワードはエンタメ分野では欠かせないキーワードとなっています。そのジャンルは VR、XR、プロジェクションマッピング、3D 立体映像、メタバース、ライブ映像、ミュージアム、大型映像、ドーム映像、バーチャルプロダクションなど、今までのくりに収まらないメディアとして新しい映像体験、ビジュアル体験を生み出し、その技術要素や表現手法はあらゆるところで活用され始めています。そんなイマーシブコンテンツの各界で活躍されている方々をお招きし、最新動向を何うとともに今求められている国際競争に打ち勝つコンテンツ力についてディスカッションしたいと思います。また、コンテンツ力の底上げを目指すイマーシブコンテンツ・ソサエティの活動にも触れていきます。



<左から、渡部健司氏、待場勝利氏、西田淳氏、石多未知行氏、渡邊徹氏>

◆【INTER BEE IGNITION×DCEXPO 企画セッション】

INTER BEE IGNITION×DCEXPO 出展者プレゼンテーション

／幕張メッセ展示ホール 6 特別企画オープンステージ

開催中、17LIVE の V ライバーとのコラボレーション企画として、展示会場でのステージイベント（出展者ピッチ）がごさいます。ピッチする出展者を一部紹介します。

◆11月19日（水） 14：15▶15：50

- ◇（株）SAFEHOUSE「ENHUMAN」本物と見間違ふほどのフォトリアルな人間型のアバター
- ◇（株）ワイルドマン「高精細 VR カメラを用いた 3D デジタルアーカイブ事業」高品質な VR コンテンツを後世に残す
- ◇IPconnect（株）生成 AI×キャラクター監修支援「IP Supervisory Supporter（ISS）」、「AI Right Hub」
- ◇（株）レッドクリフ「クールジャパンドローンショー」日本の「クールジャパン」コンテンツを空中演出として可視化
- ◇慶應義塾大学 Embodied Media Project「ROomBOT」自助的な生活動作支援に向けた空間知能化ロボティクス
- ◇東京大学 稲見・門内研究室「MoHeat」複合的な伝熱方式を活用した非接触高速温度提示装置
- ◇津田塾大学 栗原研究室「栗原式インパクトボタン」インターフェース技術を用いた既存ゲームコントローラーの拡張
- ◇慶應義塾大学 / 大阪大学「FlexEar-Tips」空気圧制御を利用した変形するイヤークリップ



<左から、清楼銘氏、スラたん氏>

デモンストレーション

◆【INTER BEE IGNITION×DCEXPO AI Street デモンストレーション】／幕張メッセ展示ホール 6 特別企画デモエリア

開催中、生成 AI によるクリエイティブの可能性をデモンストレーション形式にて紹介します。ファッション、映画、アニメ、ゲーム等、さまざまなクリエイティブに、見て・触れてお楽しみください。

- 【AI×人間工学】（株）answer
- 【AI×映画】ガウマピクス（株）
- 【AI×ゲーム・占い】CDLE 名古屋
- 【AI×小説・絵画・アート】一般社団法人起業家アート協会
- 【AI×音楽】オンガラボ（株）
- 【AI×ゲーム】AI Frog Interactive
- 【AI×アバター】（株）POCKET RD
- 【AI×アニメ】（株）EQUES / ANIMINS
- 【AI×ファッション】NFFT
- 【AI×身体表現】MonoGraphy



ネットワーキング企画

◆【INTER BEE IGNITION×DCEXPO 企画】イノベティブネットワーキング

／11月20日（木） 17:45▶19:15 幕張メッセ展示ホール 6 特別企画オープンステージ

最先端的な映像表現技術やテクノロジーが集まる INTER BEE IGNITION×DCEXPO にてネットワーキングをオープンに開催。出展者や来場者によるオープンマイクピッチ等を実施予定。



展示・コンファレンス・ステージ企画および、CTIP 採択技術・TechBiz 支援対象技術の一覧と詳細については、
公式 HP（<https://www.dcexpo.jp>）をご覧ください。

— 開催概要 —

- 【名 称】INTER BEE IGNITION×DCEXPO
- 【会 期】11月19日（水）～11月21日（金）10:00～17:30（最終日のみ 17:00 まで）
- 【会 場】幕張メッセ 国際展示場展示ホール 6（千葉市美浜区中瀬 2-1）
※Inter BEE 2025 は国際展示場展示ホール 2～8 での開催
- 【料 金】無料（事前登録制）
- 【公式 HP】<https://dcexpo.jp/>
- 【お問合せ】一般財団法人デジタルコンテンツ協会 デジタルコンテンツ EXPO 事務局
メール：info@dcexpo.jp TEL：03-3512-3901

【ご取材について】

- ◆幕張メッセ会場へご来場の報道関係者の方は、幕張メッセ 5 ホール 2F のプレス登録カウンターにて、ご登録いただきご入場いただけます。ご登録の際に、お名刺を 2 枚ご提示いただけます。
- ◆「INTER BEE IGNITION×DCEXPO」の展示・コンファレンスのご取材を希望の場合は、上記、**DCEXPO 広報事務局**（info@dcexpo.jp）宛に、**11月18日（火）17 時までにお申込ください**。また、会期前日の 11 月 18 日（火）に取材が可能な展示もありますので、ご希望の場合は、広報事務局までご連絡ください。